



東広島市立磯松中学校 2 学年第 2 号

令和 6 年 5 月 1 日 (水)

ご が つ さ つ き
五月は皐月



2 年生になってひと月が経とうとしています。五月(ごがつ)のことを五月晴れのように(さつき)とよく言いますが、皐月ともいいます。本来はつつじのことをさしますが、田植えをするという意味があるそうです。何か「こと」を始めるという雰囲気が出ていますね。進級してこれから本格的にいろんなことを始めていくという時にぴったりの言葉ではないでしょうか。

さあこの五月にいろんなことをスタートさせましょう。そして豊かな実りがあなたに訪れますように。

リーダーとして臨む体育大会

体育大会では去年は2 年生や3 年生についていだけでしたが、今年は後輩を指導する立場です。そして「雷神」「大蛇」の舞を創りあげるのが2 年生の仕事です。つまり体育大会を成功させるという責任をあなたたちは背負っています。

これまでは2・3 年生の背中を追って、自分の出場競技に集中していればよかったものが、今年は自分のことをがんばりつつ、1 年生を導かなければなりません。どうしたら、これまでの舞よりも良いものを創りあげることができるのか。1 年生を導きながら完成させるという大仕事が待っています。

どうしたらよい先輩になれるのでしょうか？それは去年の自分自身に訪ねてください。1 年生の時にやってもらってうれしかったこと、楽しかったことを後輩にしてあげてください。大切な後輩を安心させ、そして甘やかすことなく上手に導いていく努力をしてくださいね。



○今日は部活動体験 1 日目でした。自分も 1 年前はこんなことしていたと思うと成長したなと思いました。テニス部に入ってくる後輩たちのお手本になれるようにもっと練習したいと思います。

○今日は、ダンスは腕とかをあまり伸ばせてなかったのが、次は、1 年生に教えられるように、しっかり腕、ひざを伸ばせるように、意識してやっていけるようにがんばります！

○中学 2 年生になって、初めての学校だったから、すごく緊張しました。友達もできるか不安です。○今日は習ったことがたくさんあったので家でしっかり復習しました。予習・復習をするクセがついたらいいと思います。

ある日の
デイレ
ーノートから

○今日から新学期がスタートしました。クラスが決まるまでは、担任の先生が誰になるか、仲の良い友達と一緒にになれるか不安だったけど、とても楽しそうなクラスだったので良かったです。楽しい一年にしていきたいです。

○新学期から 1 週間たったけど、いいクラスだと思います。これからも 2－1 でがんばっていきます。○入学式があった。この間入学したばかりだと思っていたのに先輩になるから 1 年早いと思った。お手本となるような行動をしていきたい。

○もう先輩なので、新 1 年生の見本となれる姿、生活をしていきます。デイレ係に入ったので 8 時 5 分になったら下に持っていくよう行動して係の仕事をしていきます。

連休、ど真ん中！

ゴールデンウィークも半分が過ぎようとしています。体調を崩している人はいませんか。部活動で休んでいる間もないよという人もいるかもしれませんね。または、自分の好きなことに打ち込んでいる人もいでしょう。自分で納得できる日々を送ってほしいものです。

しかし、7 日間もあれば休みを充実して過ごすための工夫も必要になってくるのではないのでしょうか。

宿題が出されているので、それを早く、うまくやり遂げてください。まず、やり切ってから好きなことに専念する。時間を区切って、やらなければならないことまずやる。それぞれ方法はあるでしょう。

でも、あとに残していると楽しい気持ちしがばんでしまいませんか。宿題の時間を確保してぜひ早めにやり遂げてください。

今年はゴールデンウィーク以外でも3 連休の週が多いようです。よい休日の過ごし方を考えておくことも大切ですよ。普段できないことにチャレンジできるチャンスなのですから。

どんな体験をしたのか、どんな気持ちになったのか、デイレーノートに書きつけておいてください。また、ここで紹介したいと思います。



春、新しくなったのは？



新学期になって、いろんなものが新しくなりましたが、上の写真の通りこのテーマも新しく生まれ変わりました。「できないのはやらないからだ」から「自分を信じて夢に挑戦!」に変わりました。

みなさんは、この言葉に何を感じますか？この新しいテーマのもとで、たくさんの挑戦をしてくれる人が増えてくれると嬉しいです。「チャレンジしないで、あきらめないで。」「やってみなければ、わからないよ。」といった気持ちは変わらないのですが、チャレンジするために勇気を持つことを考えてほしいのです。

一歩踏み出すための勇気はどうやって持てるのでしょうか。まず、強い思いを持つことでしょう。でも、それだけだと心細いかもしれません。しかし、夢を後押ししてくれる仲間や家族がいれば一歩を踏み出すこともできるのではないのでしょうか。どうかをたくさんの夢をお互いに語り合ってください。